

かがわ「里海」づくり推進事業について (令和2年度の取組み状況)

1000年先の未来へ。

美しい里、豊かな海



satoumi
project

Seto Inland Sea, Kagawa

1 かがわ里海大学運営事業

- 里海づくりに求められる人材の育成や、里海についての理解を広げていくことを目的に、平成28年4月に香川大学と共同で開校。
- 里海づくりに向けた課題の解決に必要な講座や、子供も楽しく里海に親しめる講座など、様々な講座を随時開講。
- 学長：香川県知事。運営：かがわ里海大学協議会

(実施講座の一例)

里海ガイド養成講座

里海体験ツアー等で、ガイドができるレベルの人材を養成する講座。アクティビティ開発など



海の生き物観察講座

海や海辺に暮らす生き物の観察を通して、生物の多様性や里海への関心を深める講座



一から学ぶ海ごみ講座

海ごみの原因・現状・抱える問題を知り、何ができるかを考える講座



【H28年度】 講座数 17 修了者数 延べ346名
【H30年度】 講座数 28 修了者数 延べ546名

【H29年度】 講座数 25 修了者数 延べ485名
【R元年度】 講座数 30 修了者数 延べ558名

1 かがわ里海大学運営事業

令和2年度 かがわ里海大学講座 実施状況

【前期】

区分	講座名	会場	修了者
スタートアップ	海の生き物観察講座(浦生海岸)	高松市	12
	海の生き物観察講座(大浜漁港付近)	三豊市	10
	ウミホテル観察講座(鎌野海水浴場)	高松市	20
	ウミホテル観察講座(箕浦港)	観音寺市	23
	あなたもできる☆魚のさばき方講座	高松市	10
小計			75
ステップアップ	森と海のつながり体験講座	高松市	8
	川と海のつながり体験講座	高松市	7
	里海風景の撮影ツアー	高松市	10
	一から学ぶ海ごみ講座	さぬき市	6
	里海を大いに語り合う講座	高松市	14
	県内大学 研究室訪問交流講座(理系)	高松市	6
	小計		
スキルアップ	里海ガイド養成講座(応用)	三豊市ほか	6
	Web会議ファシリテーション講座	オンライン	47
	わかりやすく&たのしく伝えよう！解説技術講座	高松市	14
	海で安全に楽しむための危機管理講座	高松市	8
小計			75
前期講座 合計			201

【後期】

区分	講座名	会場	修了者
スタートアップ	できた！が増える片づけ教室	三木町	17
	里海の恵み料理教室	高松市	12
	里海ガイドと行く「海辺マップ」ウォーキングツアー	東かがわ市	19
	たのしく脱プラ♪みつろうラップづくりワークショップ	高松市	14
小計			62
ステップアップ	里海体験ツアー(無人島編)	三豊市	10
	里海体験ツアー(これな～んだ編)	東かがわ市	9
	一から学ぶ海ごみ講座	坂出市	20
	里海ガイドって何なん講座	坂出市	14
	里海からの情報発信基礎講座	坂出市	6
	カードゲームで学ぶSDGs講座	高松市	9
	ボードゲーム体験講座	高松市	11
小計			79
スキルアップ	海ごみリーダー養成講座	小豆島町	19
	対話型オンラインイベントの作り方講座	オンライン	12
小計			31
後期講座 合計			172
令和2年度講座 合計(前期+後期)			373

※ 他に「オーダー講座」を11団体で実施(R3.3.1現在)

2 里海づくり活動促進事業

里海ナビゲーション事業

- 海に関心のなかった人や海に親しむ機会がなかった人に対して、海の楽しさを知り、里海づくりに関わってもらおうきっかけづくりとして実施

・「かがわ里海の幸」小冊子

H30・R元年度に計8回発行した「かがわ里海の幸」リーフレットに関して、令和2年度は総仕上げとして、「未来の里海づくりを担う人」にも向けた小冊子を作成作業中。

・かがわの里海づくりブランド化ポスター

かがわの里海の魅力発信、知名度向上のため、里海の幸を題材にしたポスターを制作中。

・かがわ「里海」づくり絵日記コンテスト

令和2年度：応募 358点
(R元:156点、H30:254点、H29:158点、H28:218点)



「かがわ里海の幸」小冊子の作成
若き漁師ユーチューバー はまゆうさん取材中



絵日記コンテスト 最優秀賞作品

2 里海づくり活動促進事業

県民参加型モニタリング事業

① 海辺の生き物調査

- 海辺の生き物20種類の指標生物を調査することで海の水質や生物量の豊かさを把握し、海の状況や海辺の生き物に関心をもってもらう。
- R2報告数 10件



② ウミホタル生息調査

- 水質の良い海岸にすみ、発光する珍しい生き物であるウミホタルの調査を通して、海の状況を把握し、関心をもってもらう。
- R2報告数 11件



③ アサリの成長観察

- 放置竹林から伐採した竹を利用したアサリ幼生の着底、成長の調査。
- R2年度は、林田海岸(坂出市)、有明海岸(観音寺市)で実施。

2 里海づくり活動促進事業

活動連携促進事業

・ 企業向けの相談窓口

「里海コンシェルジュ」

- 企業における里海活動の定着とさらなる拡大を図るため、新たに、企業向けの里海づくりに関する相談窓口「里海コンシェルジュ」を環境管理課内に設置。
- 企業への里海活動の普及と、里海のフィールドを支える地域の活動とのマッチングを行っている。
- R2年度は、13件の相談に対応。
(R3.2.18時点)



私たち、4人揃って
かがわ里海コンシェル☆ズ！

企業・団体の社会貢献活動として、
里海づくりはいかがですか？

**里海コンシェルジュ
やっています！**

「里海コンシェルジュ」は、
里海づくりに関する相談窓口です。
お気軽にお問い合わせください。

香川県 環境森林部 環境管理課 里海グループ
場所：香川県庁 東館2階（高松市番町4-1-10）
来庁の際は、事前にご連絡ください。
TEL：087-832-3220
E-mail：kankyokanri@pref.kagawa.lg.jp
「かがわの里海づくり」については、こちらをご覧ください。
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyokanri/satoumi/index.html>

例えば、こんな相談受け付けます

- こんな里海づくり活動がしたい！
- 地域の方々と一緒に活動できることは？
- まずは、里海について知りたい！
- こんな取組みも里海づくり？
- 私たちの地域では、海とどんな関わりができる？
- 海とのふれあい活動のメニューは？

2 里海づくり活動促進事業

活動連携促進事業

・企業向け里海づくりセミナーの開催(予定)

- 企業・団体の社会貢献活動で「里海づくり」に取り組んでいただくため、企業・団体の担当者向けのセミナーを開催。
- 日時 3月22日(月) 10:00~11:30
- 会場 サポートホール高松 54会議室


○基調講演

「SDGs持続可能な社会づくりのために
地域に愛されるお店作りから循環型社会を考える」
学生服リサイクルショップ「さくらや」経営者
馬場 加奈子 氏

○里海づくり活動報告

「里山保全活動」
三菱電機株式会社受配電システム製作所
総務課 井澤 友子 氏

○里海コンシェルジュによる「かがわの里海づくり」のお話



企業・団体向け 里海づくりセミナー

企業・団体の社会貢献活動で、「里海づくり」に取り組んでみませんか？
県内でSDGsを経営に取り入れ実践する「さくらや」経営者の馬場加奈子さんの講演と、丸亀の離島で進められる特色ある活動の報告は、これからSDGsや里海づくりに取り組む方にも、すでに取り組んでいる方にも必見です！

2021年
日時 **3月22日(月)**
10:00~11:30
(受付開始 9:40~)

会場 **サポートホール高松54会議室**
(高松市サポート2-1
高松シンボルタワー・ホール棟)

対象 **企業・団体のSDGsやCSR活動、環境保全ご担当の方**
(他にも、里海づくりに興味のある方はどなたでも参加できます)



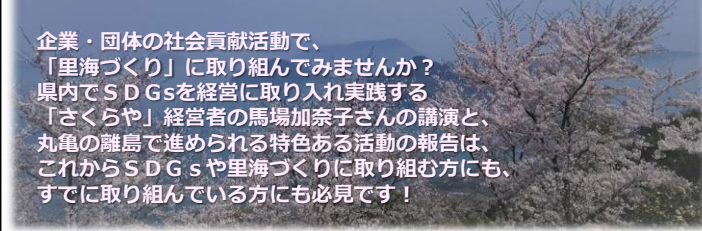
セミナー内容 **定員 40名** (先着順) **参加費 無料**

- 基調講演 「SDGs持続可能な社会づくりのために
地域に愛されるお店作りから循環型社会を考える」
学生服リサイクルショップ「さくらや」経営者 馬場 加奈子 氏
- 里海づくり活動報告 「里山保全活動」
三菱電機株式会社受配電システム製作所 総務課 井澤 友子 氏
- 里海コンシェルジュによる「かがわの里海づくり」のお話

講師紹介 馬場加奈子氏
2011年全国初の学生服専門リユースshopを高松市で起業。自身の困りごとから始まったビジネスが全国60店舗と拡大する。障がい者、高齢者、子供支援活動に取り組み現在内閣府子供の未来応援国民運動に参画し企業や学校支援機関と連携。高松信用金庫の女性創業支援アドバイザーを務める。内閣府男女共同参画女性のチャレンジ賞、日経ウーマン賞、循環型社会形成推進厚労省環境大臣賞など多数受賞。TBSがっちりマンデー、テレビ朝日BS SDGsパトナッチなど全国放送テレビにも多く出演。SDGs 4国88代表として地域循環型社会を推進中。

(活動報告) 三菱電機株式会社受配電システム製作所
三菱電機全社が社会貢献活動を推進するなか、三菱電機株式会社受配電システム製作所は、2015年2月より、高齢化と過疎化が進む丸亀市広島校区連合自治会と里山保全活動協定書を結び活動をスタート。王頭山の登山道入り口の整備や、海岸に打ち上げられた生活ごみを収集するなど、“地域が必要とする”環境保全活動に取り組む。

主催 香川県



3 里海づくりコンベンション事業

第8回かがわ「里海」づくりシンポジウム開催(予定)

- テーマ 「みんなで語ろう！海ごみ対策」
- 日時 令和3年3月13日(土) 13:00～16:00
- 場所 オンライン開催
- 主催 香川県、かがわ「里海」づくり協議会
協力 岡山県
- 参加定員 500名

基調講演

「海洋プラスチック汚染とプラごみ削減」
東京農工大学教授 高田 秀重 氏

活動報告

- ①うどん県からはじめる脱使い捨てプラスチックボトルの取り組み
NPO法人アーキペラゴ理事 森田 桂治 氏
- ②私たちの瀬戸内海ブルーオーシャンプロジェクト
山陽学園中学校・高等学校地歴部の皆さん
- ③海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業
岡山県循環型社会推進課 大前 善男 氏

解説

かがわ「里海」づくり協議会アドバイザー
広島大学名誉教授 松田 治 氏

オンライン開催
第8回 かがわ「里海」づくりシンポジウム
みんなで語ろう！海ごみ対策

開催日時 令和3年3/13土 13:00▶16:00

開催方法 オンライン開催 (Zoomウェビナーを使用します)
申込期限 令和3年3月12日(金) 24時まで
申込方法 参加申込方法は裏面

参加無料
事前登録制
定員500名

【基調講演】
海洋プラスチック汚染とプラごみ削減
高田 秀重 氏 (東京農工大学 農学研究院環境資源科学科 教授)

【活動報告】
うどん県からはじめる脱使い捨てプラスチックボトルの取り組み
森田 桂治 氏 (NPO法人アーキペラゴ理事)
私たちの瀬戸内海ブルーオーシャンプロジェクト - 海洋ごみ問題を「自分事化」する実践 -
山陽学園中学・高校地歴部の皆さん
海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業について
大前 善男 氏 (岡山県 環境文化部 循環型社会推進課)

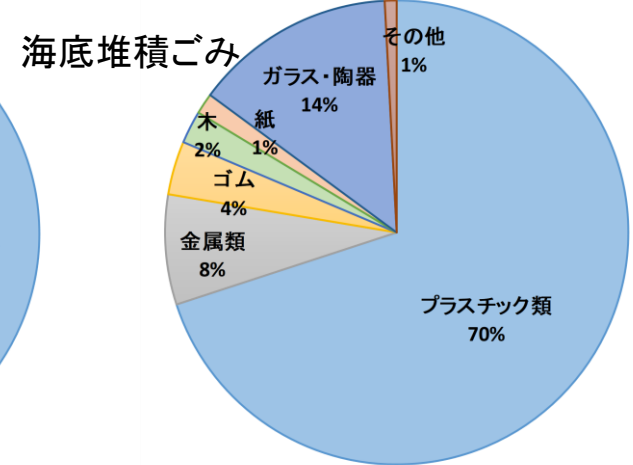
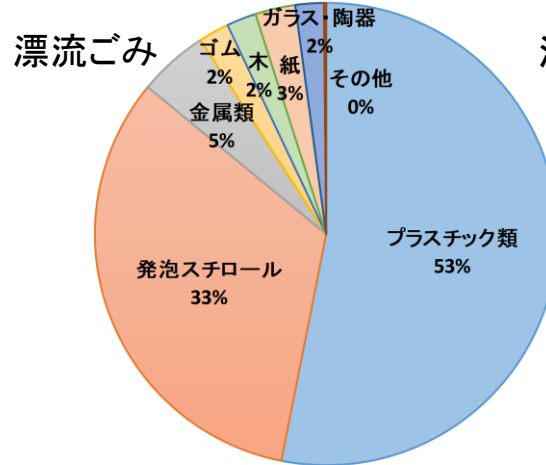
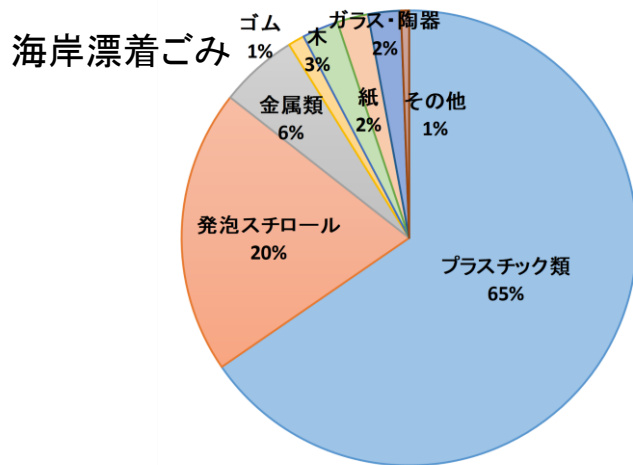
解説
松田 治 氏 (広島大学名誉教授・かがわ「里海」づくり協議会アドバイザー) 司会 谷 益美 氏 (株式会社ONDO代表取締役)

主催 ● 香川県、かがわ「里海」づくり協議会 協力 ● 岡山県 開催内容の提供先 ● 香川県 環境森林部 環境管理課 TEL 087-832-3220

4 海ごみ対策推進事業

第3次香川県海岸漂着物対策等推進計画の策定

- 現行の第2次計画の対象期間が令和3年3月末で終了するため、令和3～7年度を新たな対象期間とする第3次計画を策定。
- 第3次計画では、新たに「海洋プラスチックごみ対策」や「海岸漂着物対策活動推進員等の委嘱・活用」について記載。
- 計画策定に当たって、海ごみの状況を把握するため、実態調査を実施。海岸漂着ごみ、漂流ごみ、海底堆積ごみ、いずれも個数割合ではプラスチック類、発泡スチロールが8割以上を占めていた。



香川県における海ごみの種類割合(個数)

4 海ごみ対策推進事業

県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」

- 令和2年度は、参加者 約3万7千人。約76トンのごみを回収。



毎年10月
第4日曜日
から
15日間

最重点区域における回収・処理

- 海ごみが漂着しやすい海岸において回収・処理を実施。



昨年度の女木島での回収作業の様子

4 海ごみ対策推進事業

リーダー育成

- 自主的な活動を継続的に行い、広く県民に調査方法等を普及・啓発できる地域リーダーの育成のための講座の開催や実践。 講師：小島あずさ氏（一般社団法人JEAN）



R2.11.7 小豆島

県民参加型の海ごみモニタリング調査

- リーダー育成講座の受講者が中心となって、県民参加型モニタリング調査を実施。



R2.11.14 高見島



R2.11.15 粟島

4 海ごみ対策推進事業

海ごみ発生抑制プロモーション

- 県の海ごみ対策のシンボルキャラクター「ウミゴミラ」を活用した様々なプロモーションを実施。広く県民に向けた海ごみの発生抑制のための普及啓発に取り組んでいる。
- 令和2年度は、海岸クリーンアップ活動を広げていくための学習動画の作製や、ウミゴミラ公式ソングのダンス動画を募集して一本の動画につなぐプロモーション活動を実施。



海ごみ学習動画



ウミゴミラ公式ソング ダンス動画

- 夏休み期間中、環境保健研究センター1階「ウミゴミラの海ごみ研究室」で、小学生を対象に、海ごみに関する自由研究相談教室を開催。(6回実施、小学生延べ38名参加)



(実地編)

4 海ごみ対策推進事業

マイクロプラスチック調査研究

県民参加型モニタリング調査

- 流量や清掃状況等から9河川を選び、各河川の上流、中流、下流、河口近くの海岸で約20分間ずつ、プラスチックごみを拾い、その重量を計測するとともに劣化度合を記録。

H30 金倉川、春日川、湊川

R01 高瀬川、香東川、鴨部川

R02 財田川、土器川、新川



環境保健研究センター調査

- プラスチック製品によく用いられるポリエチレン製とポリプロピレン製のシートを試験材料として、太陽光への直接暴露や紫外線ランプを用いた試験を行って成分組成や強度を確認。こういった要因や環境下でプラスチックが崩壊するのか、どのぐらいの速度で崩壊するのかなどを調査。



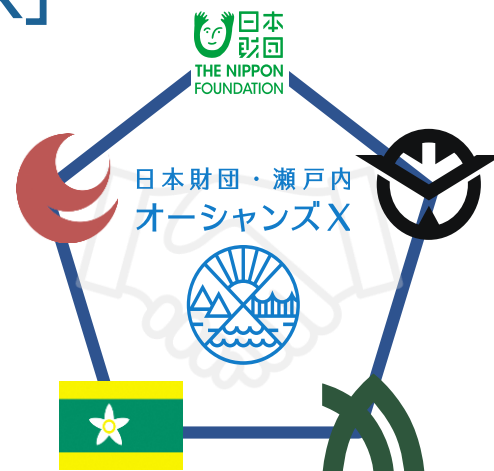
環境保健研究センター屋上

調査結果を分かりやすい形で県民にフィードバックすることにより海ごみ対策を普及・啓発。

【参考】瀬戸内海の近隣県との広域的な連携

海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズ X」

- 令和2年12月25日、瀬戸内4県（香川、岡山、広島、愛媛）と日本財団が「海洋ごみ対策に係る連携・協力に関する協定」を締結。
- 相互に連携・協力し、行政・企業・住民などを巻き込んだ新たな対策モデルを形成し、「瀬戸内モデル」として全国、世界へ発信することが目標。



- 01 調査研究
- 02 企業・地域連携
- 03 啓発・教育・行動
- 04 政策形成